

松本フードフェアで 食料自給率向上などをPR

長野農政事務所地域第一課は、11月19日に松本市中央公民館で開かれた「第9回松本フードフェア」の会場で、「食料自給率向上啓発パネル」や「食料事情等啓発コルクボード」などにより食生活改善の必要性をPRするとともに、「“信濃の国”食事バランスガイド」の活用を提案する展示を行いました。（写真右下）

食育を意識する飲食店経営者の方もお見えになり、興味深く展示を見ていただきました。



松本ふるさと料理コンクール実行委員会などが開発した「松本の新しい名物料理」

「松本一本葱のねぎかつ丼」(左上)と「蕎麦すいとん けんちん風」(右上)

フェアは、松本商工会議所が事務局を担う実行委員会の主催。松本市の飲食関連業者に対する不況対策事業の一環として、地産地消の推進や松本の名物料理の定着をめざし、地元食材のさらなる活用が提案されました。

会場では、地元で生産・製造された食材と飲料の試食・試飲、地元食材を使った料理の試食など、飲食・宿泊事業関係者への提案展示が行われていました。



長野農政事務所地域第一課